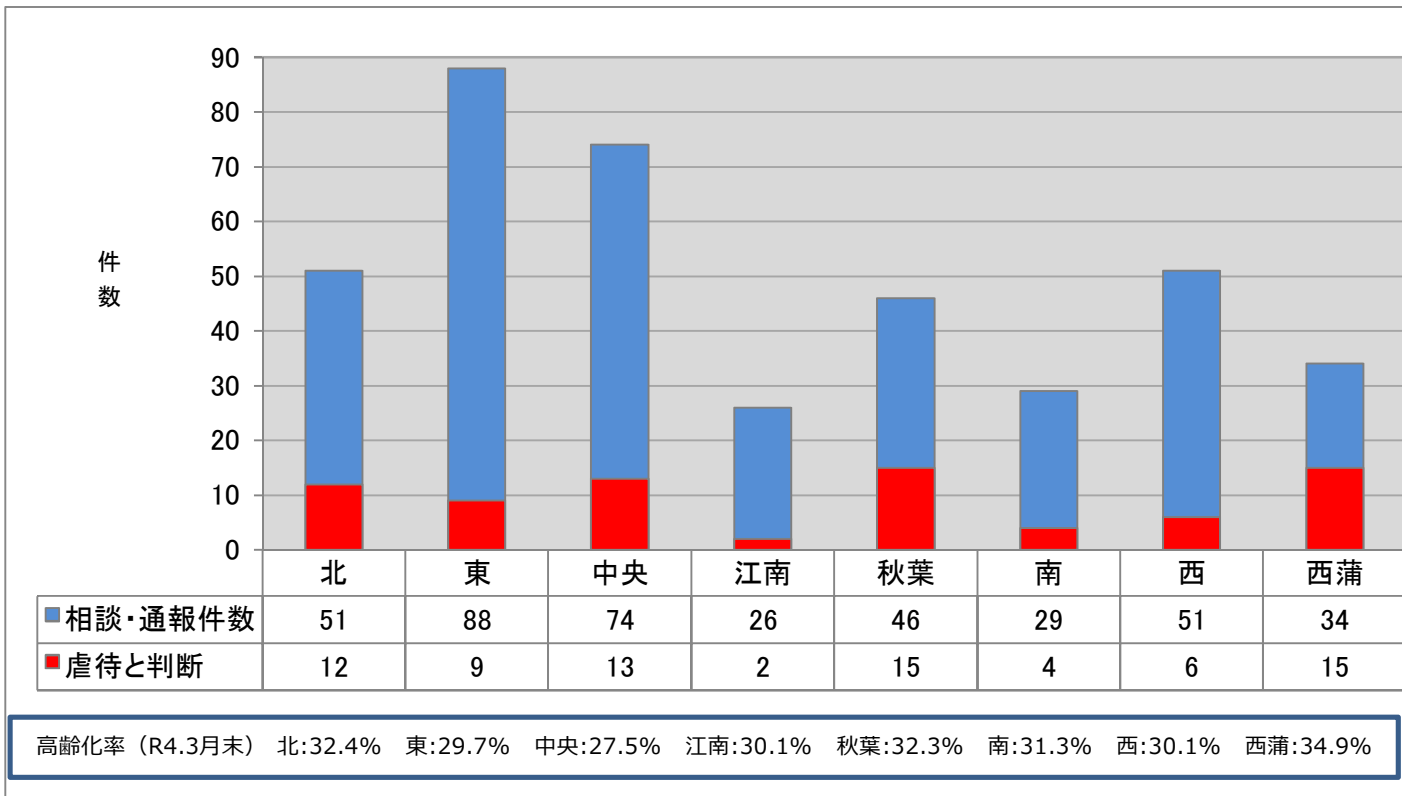


# 令和3年度 養護者による 高齢者虐待に関する新潟市の状況 (R4.3.31現在)

資料 1-2

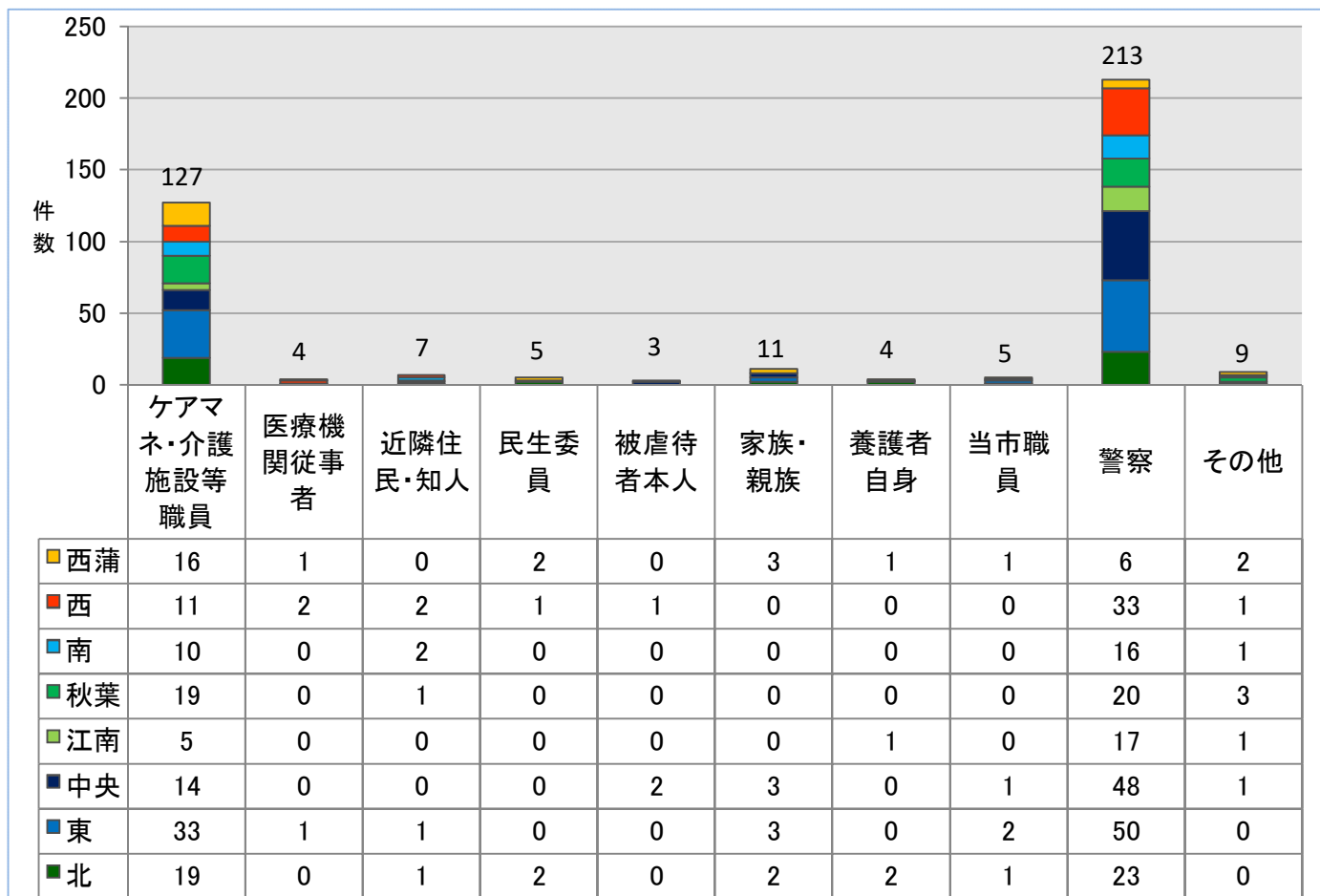
①相談・通報件数及び虐待と判断した件数(事実確認が年度を跨いだ14件を含む)

n=399



②虐待の相談・通報者(複数選択あり)

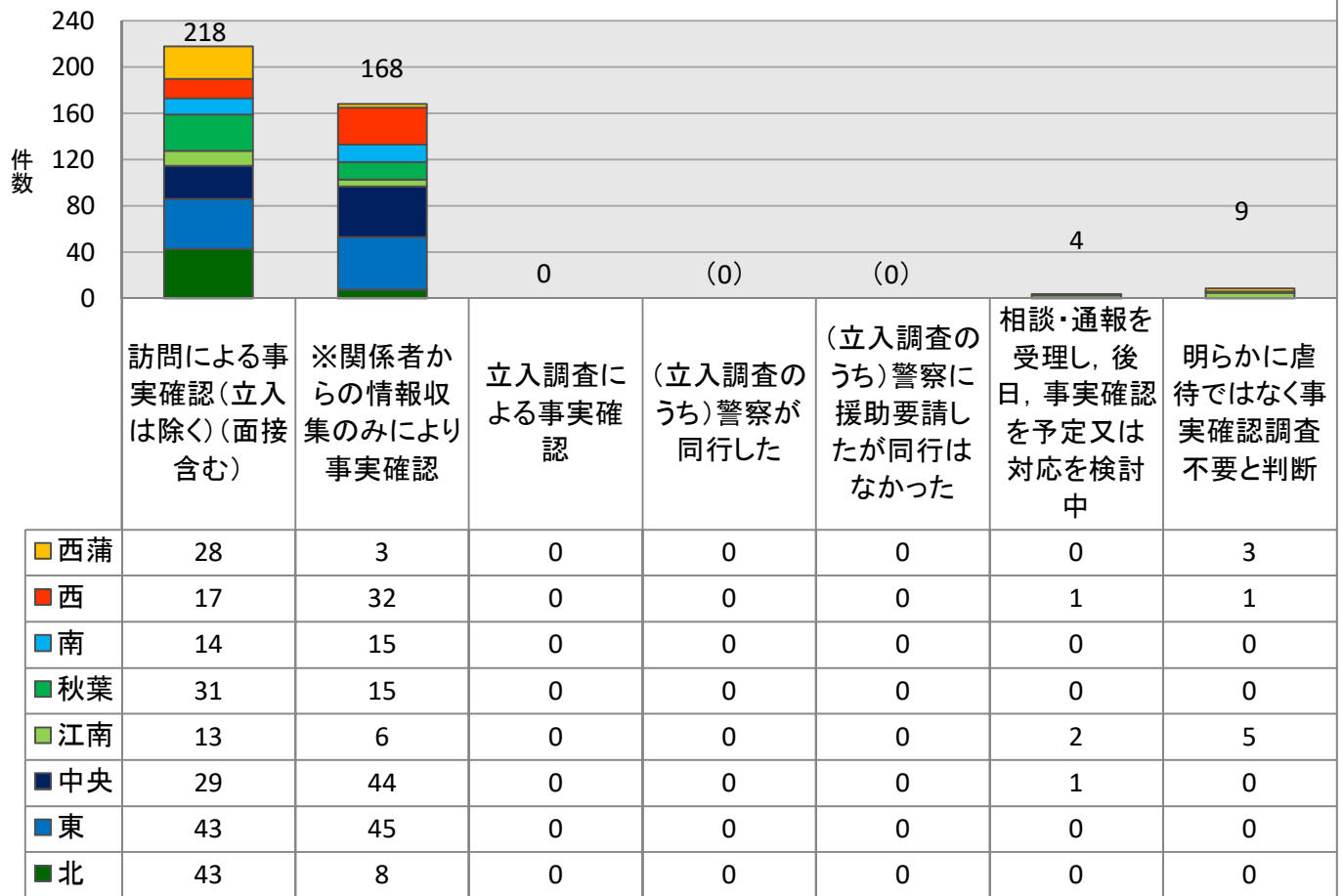
n=385



・「警察」からの相談は213件で、全体の55.3%を占める。  
※「その他」とは、認定調査員、市医師会 など。

③事実確認の状況 ※( )は再掲

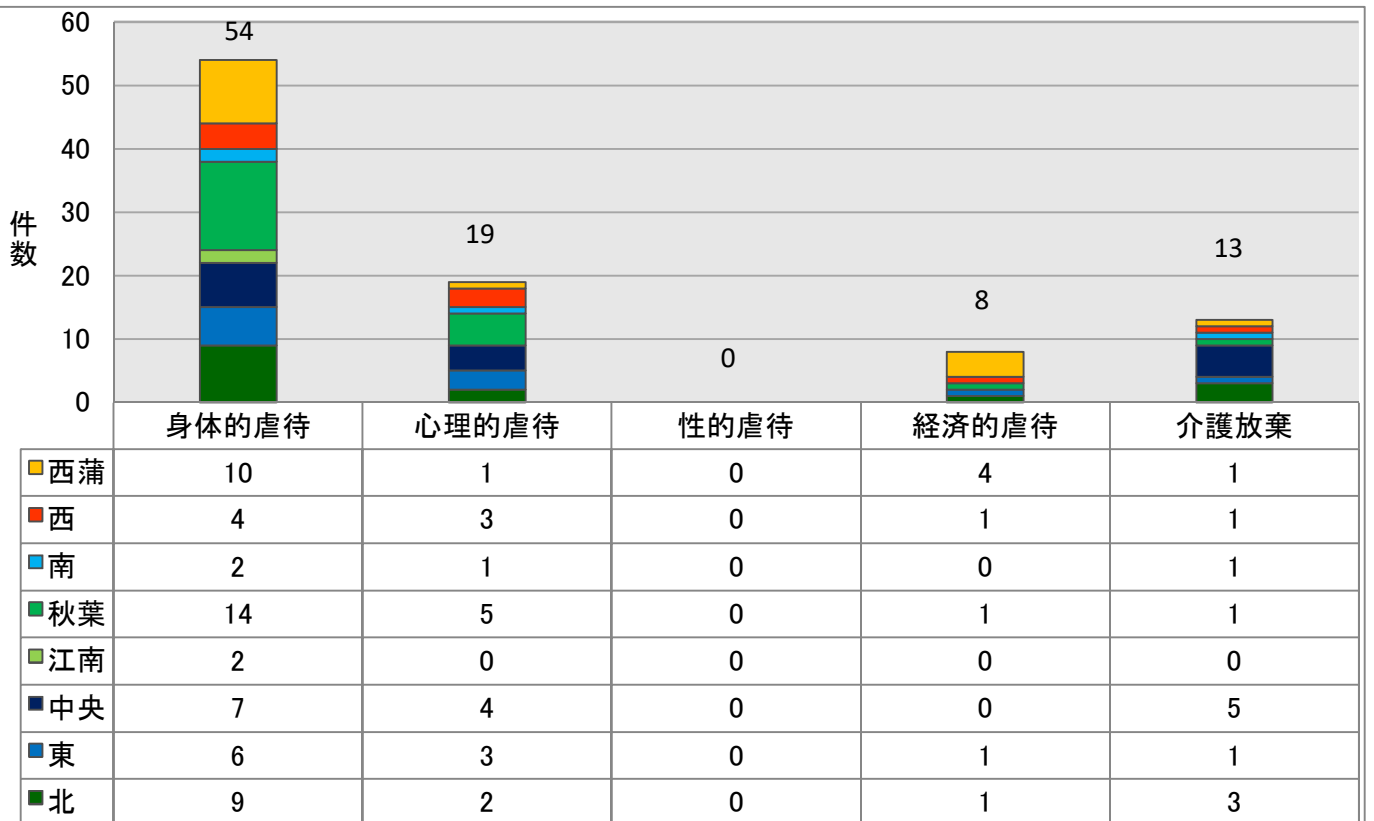
n=399



・全体の54.6%は、訪問により事実確認を行っている(年度跨ぎの14件を含む)。  
 ※「関係者からの情報収集」とは、地区担当保健師、生活保護担当職員、障がい者基幹相談支援センターなどから情報収集を行ったもの。

④虐待種別の内訳(複数選択あり)

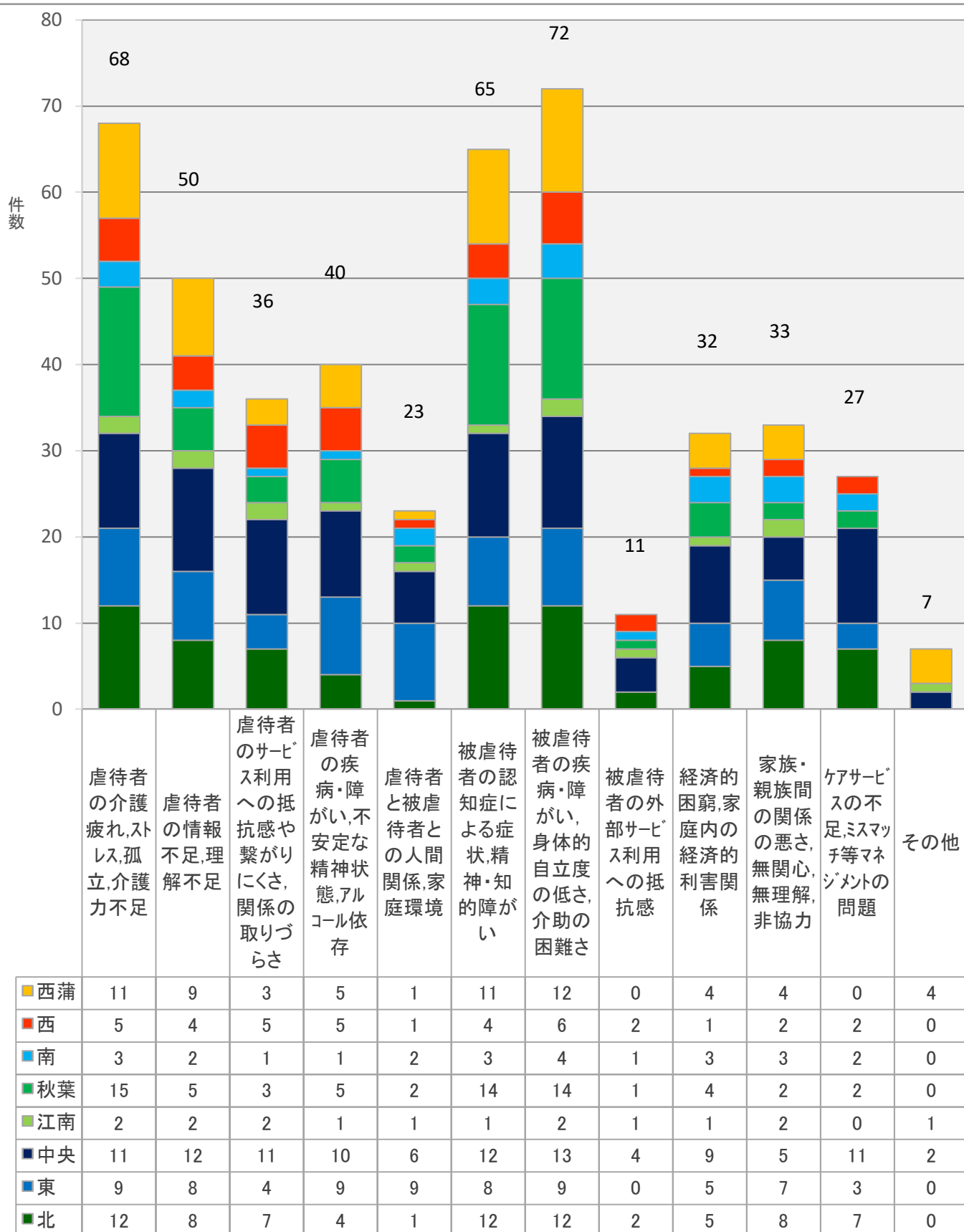
n=76



・「身体的虐待」が、すべての区で最も多い。

⑤虐待の発生に影響を与えたとと思われる要因(複数選択あり)

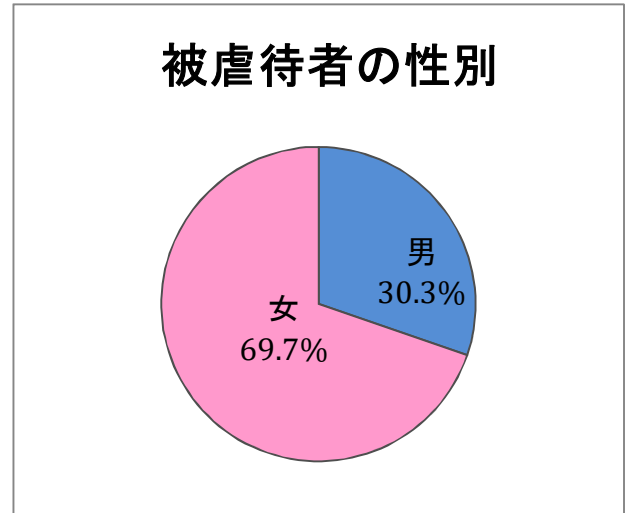
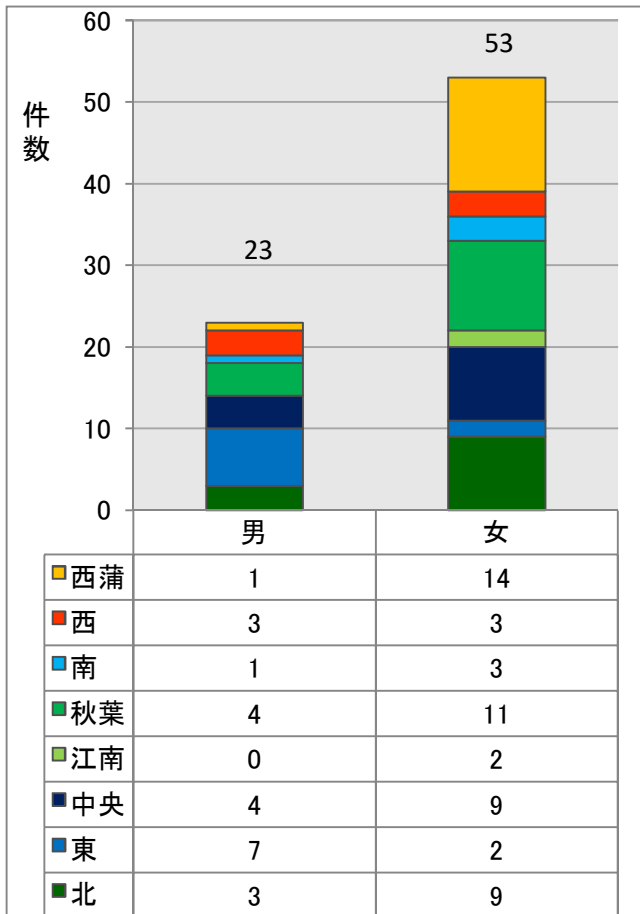
n=76



- ・虐待の発生に影響を与えたとと思われる要因は、多い順から「被虐待者の疾病・障がい、身体的自立度の低さ」が72件で94.7%、「虐待者の介護疲れ、ストレス、孤立、介護力不足」が68件で89.5%、「被虐待者の認知症による症状、精神・知的障がい」が65件で85.5%である。
- ・区ごとでは、多少のパラつきは見られるものの、特徴的なものまでは見受けられない。
- ※「その他」とは、虐待者の介護に対するこだわり、虐待者の性格 など。

⑥被虐待者の性別

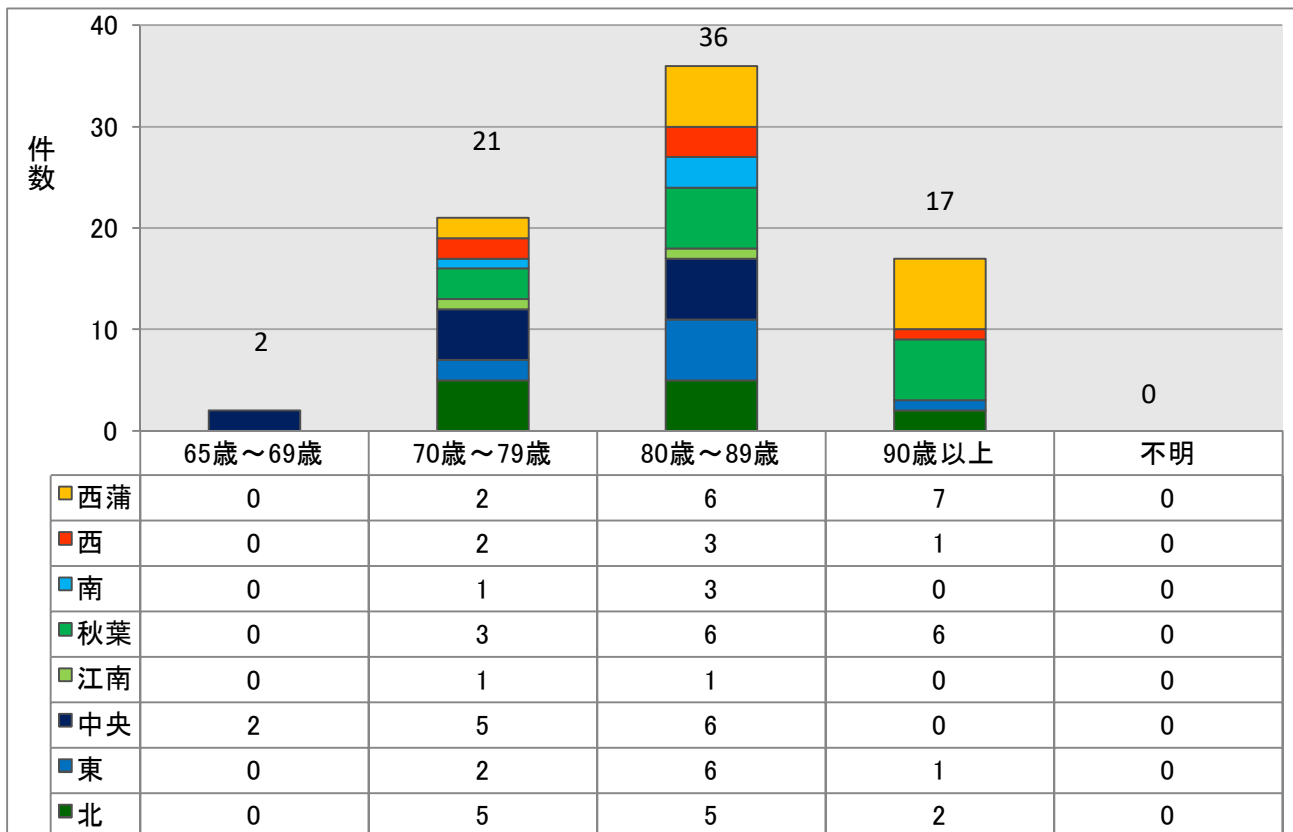
n=76



- ・被虐待者（虐待を受けている者）は、「女性」が53人で69.7%を占めている。
- ・東区のみ「男性」の割合が多い。

⑦被虐待者の年齢

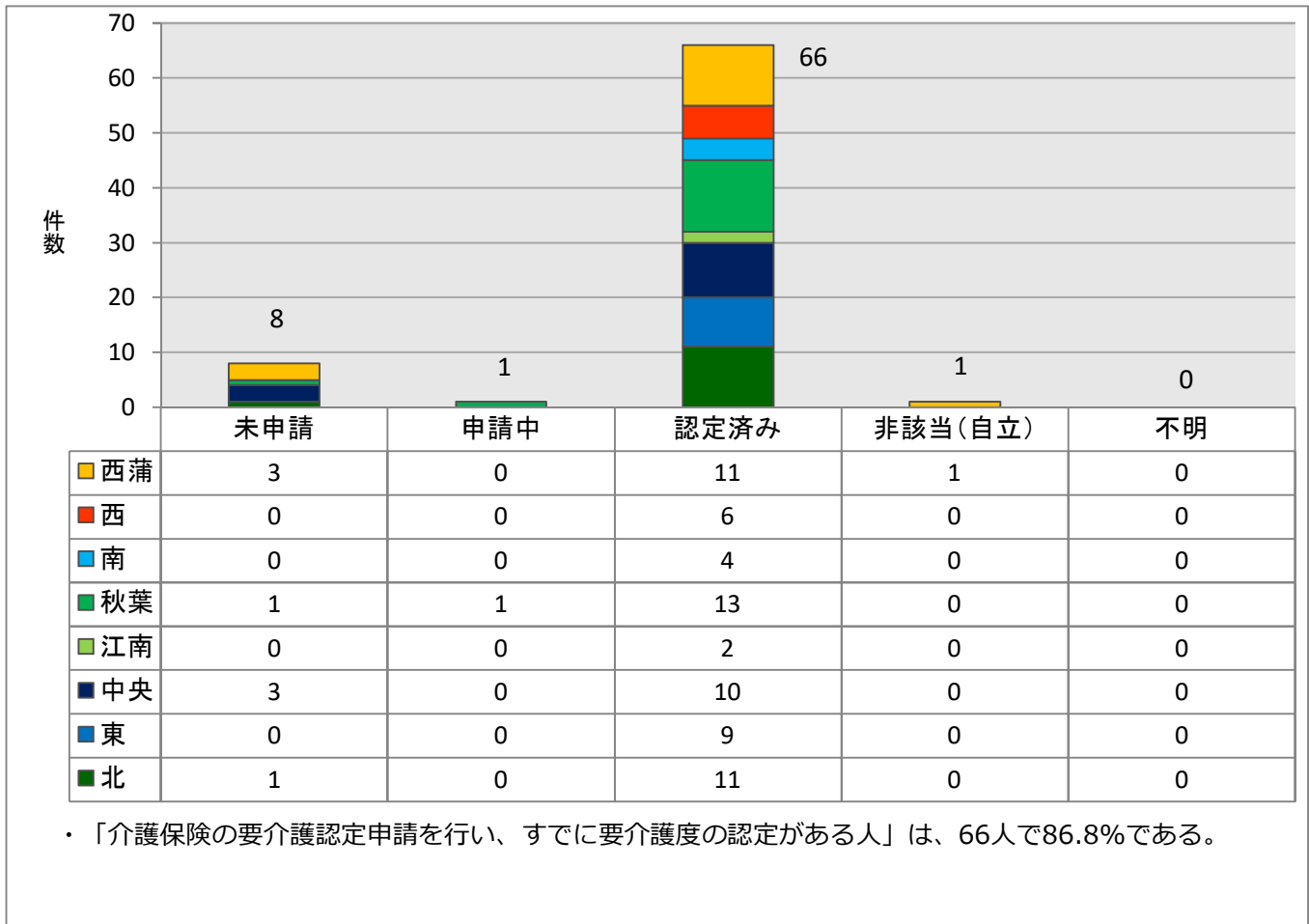
n=76



- ・被虐待者の年齢層は、「80歳代」が最も多く36人で43.4%、次いで「70歳代」が21人で27.6%である。
- ・区ごとでは、「90歳以上」が最も多い区もある（秋葉区、西蒲区）。

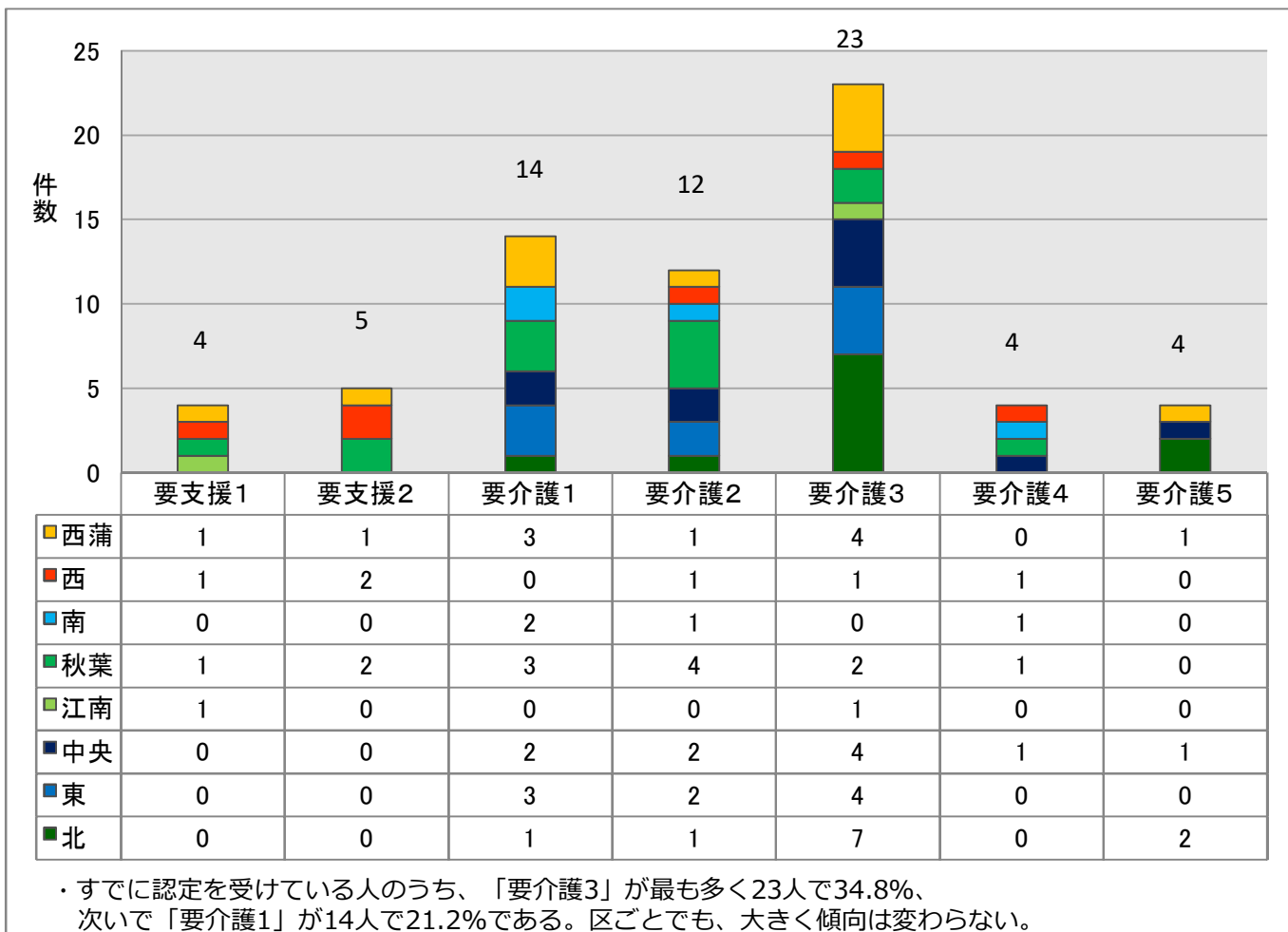
⑧被虐待者の要介護認定の有無

n=76



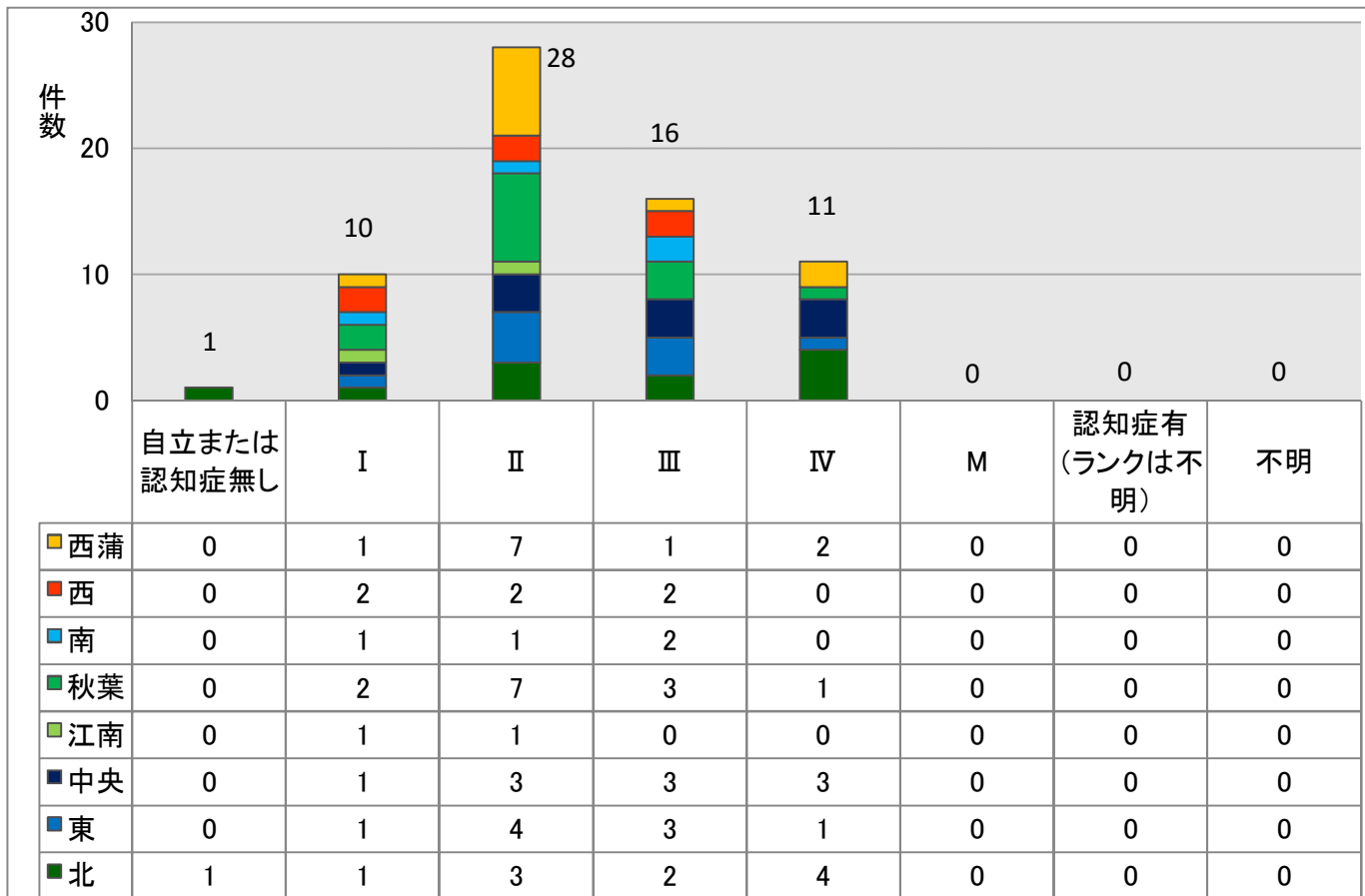
⑨被虐待者の要介護度

n=66



⑩被虐待者の認知症の有無

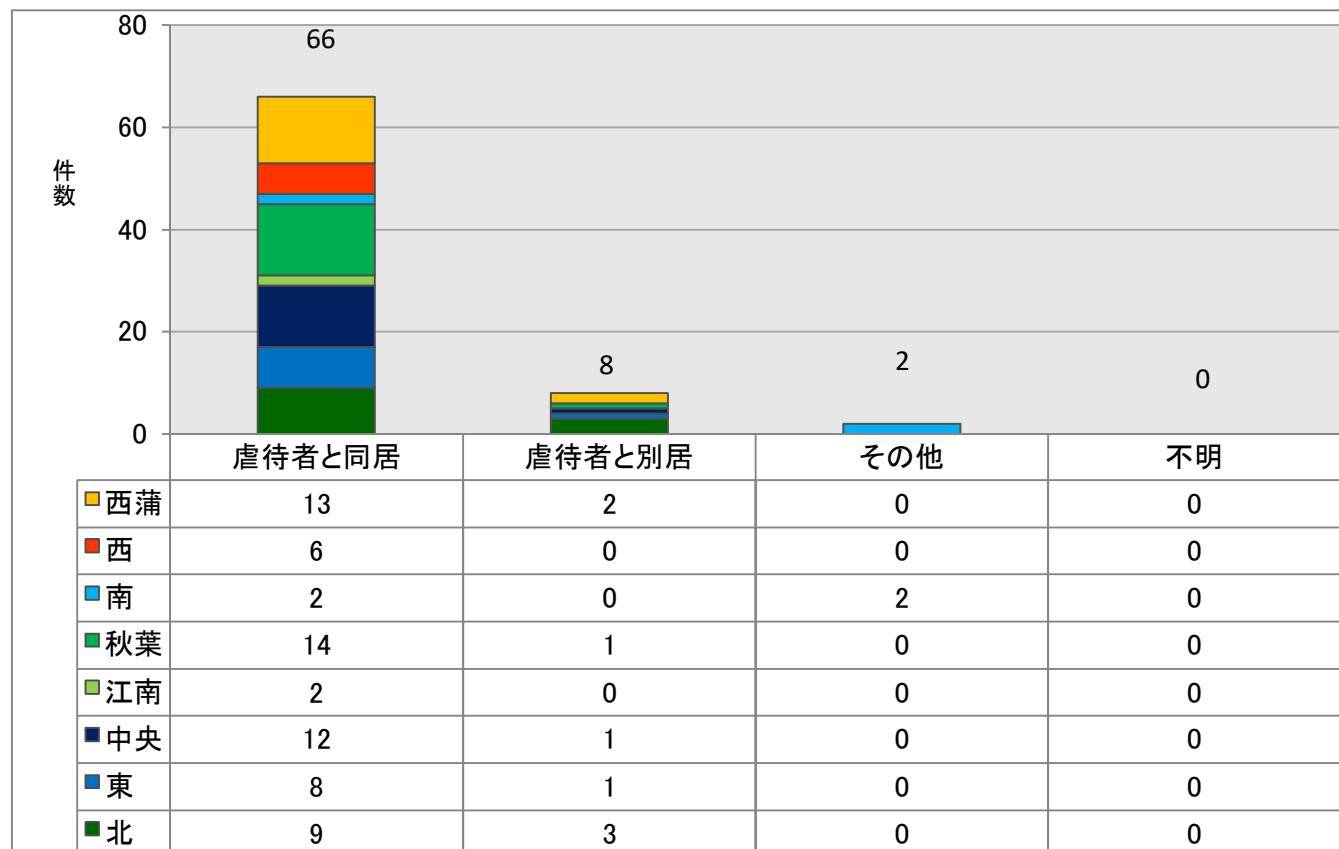
n=66



・すでに要介護認定を受けている人の認知症高齢者の日常生活自立度は、日常生活に支障をきたす症状が出現し始める「自立度Ⅱ」が最も多く、28件で42.4%だが、それよりも重度の「自立度Ⅲ」、「自立度Ⅳ」の事例も多く見られた区もあった（北区、東区、中央区）。

⑪虐待者との居住形態の内訳

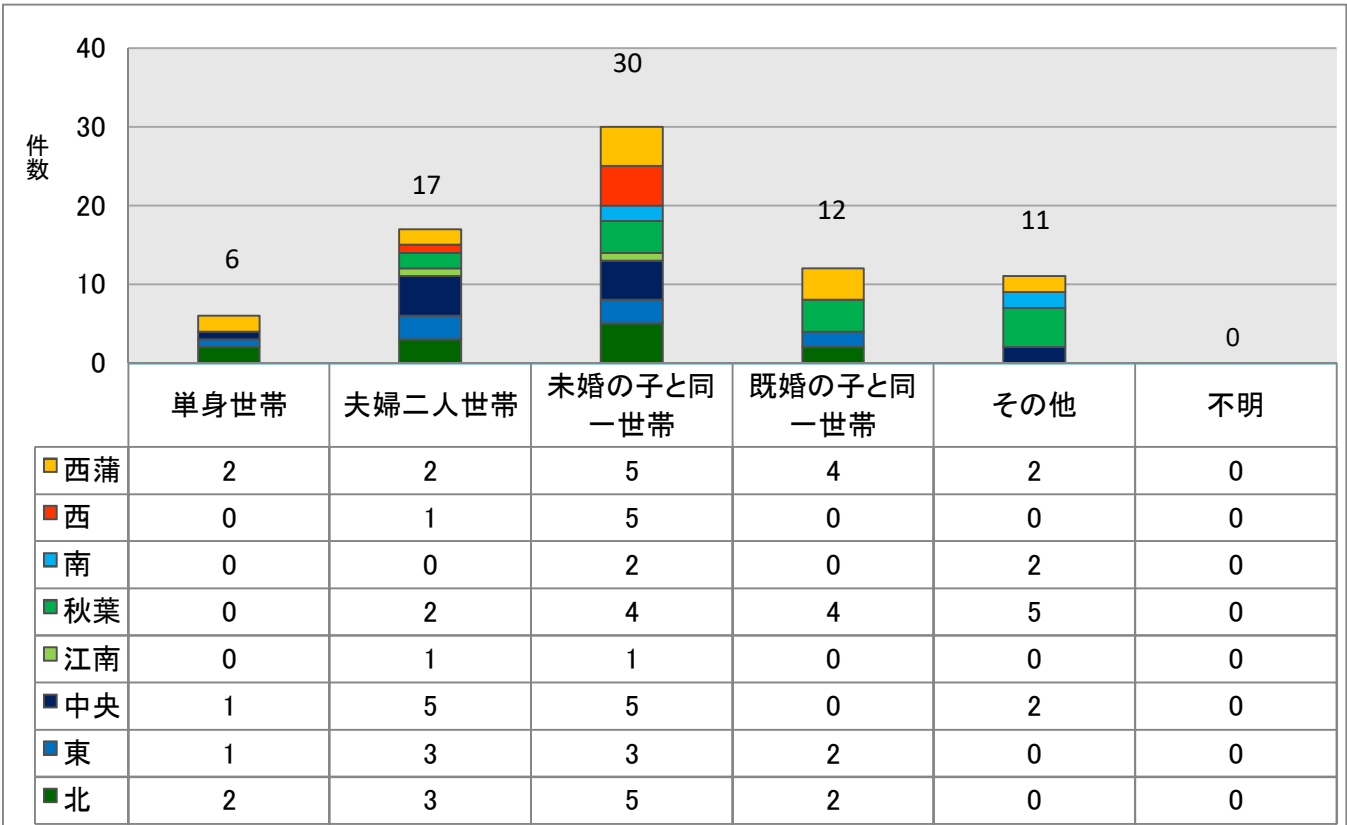
n=76



・「虐待者と被虐待者が同居」している事例が、すべての区で多かった。

⑫被虐待者を含む世帯構成の内訳

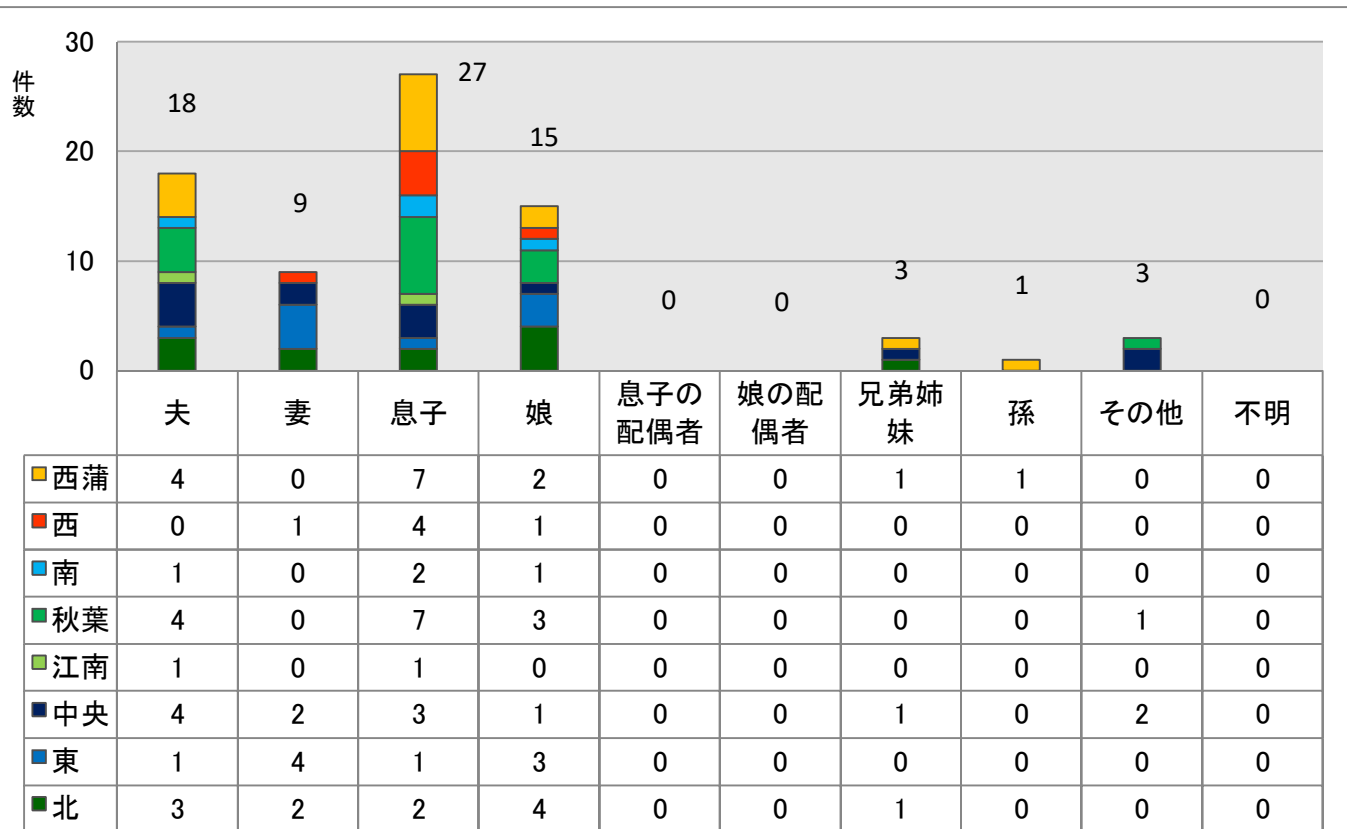
n=76



・世帯構成は、「未婚の子と同一世帯」が最も多く、次いで「夫婦二世帯」が多いが、この傾向は、区ごとでも大きく変わらない。  
 ※「その他」とは、兄夫婦家族と同居、孫夫婦と同居、孫と同居など。

⑬虐待者の続柄(複数選択あり)

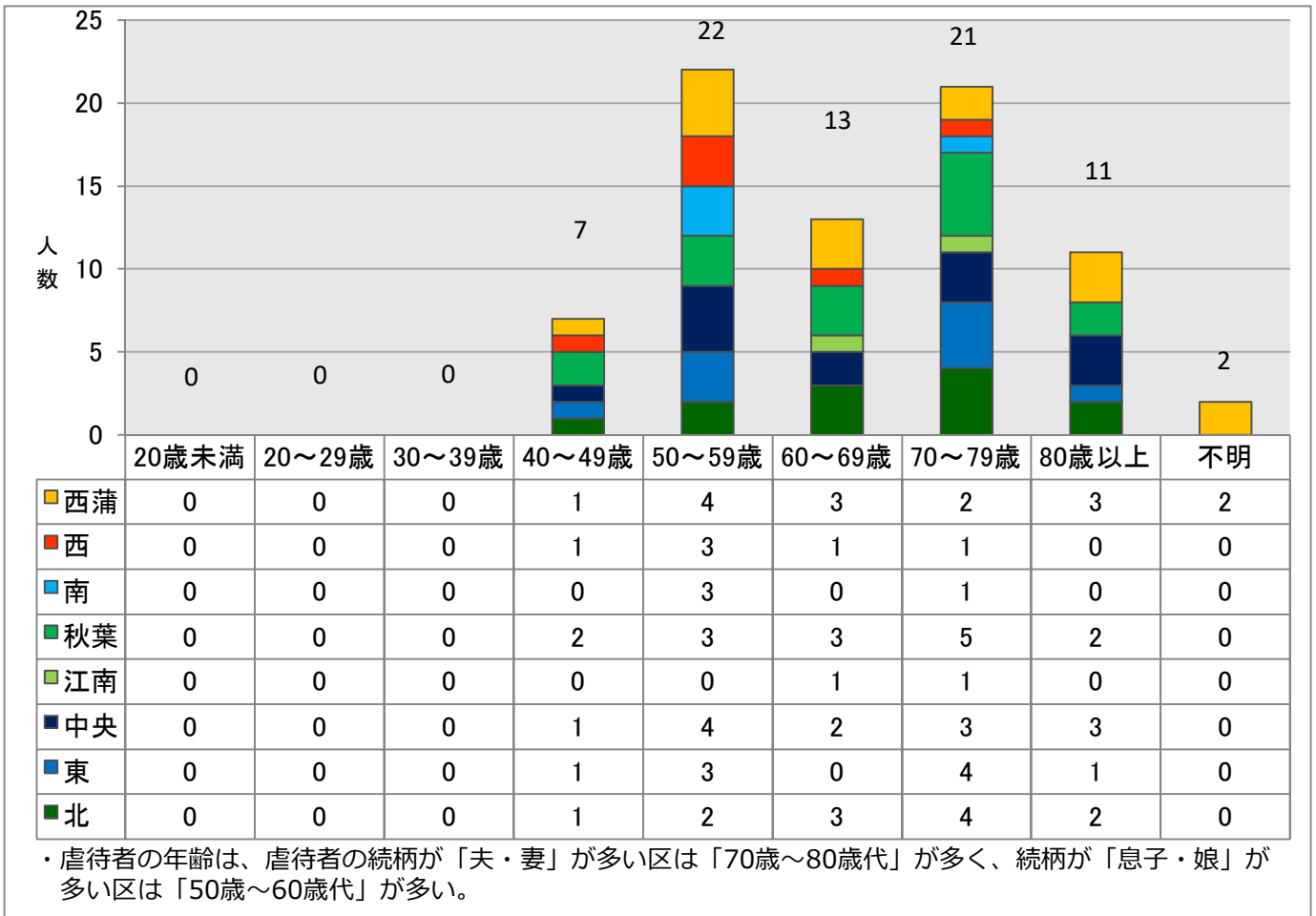
n=76



・虐待者(虐待を行った者)の続柄は、「息子」が最も多く、次いで「夫」が多く、全体の約60%を占める。  
 ・区ごとでは、北区では「娘」が最も多く、中央区では「夫」が多かった。  
 ※「不明」とは、甥、知人 など。

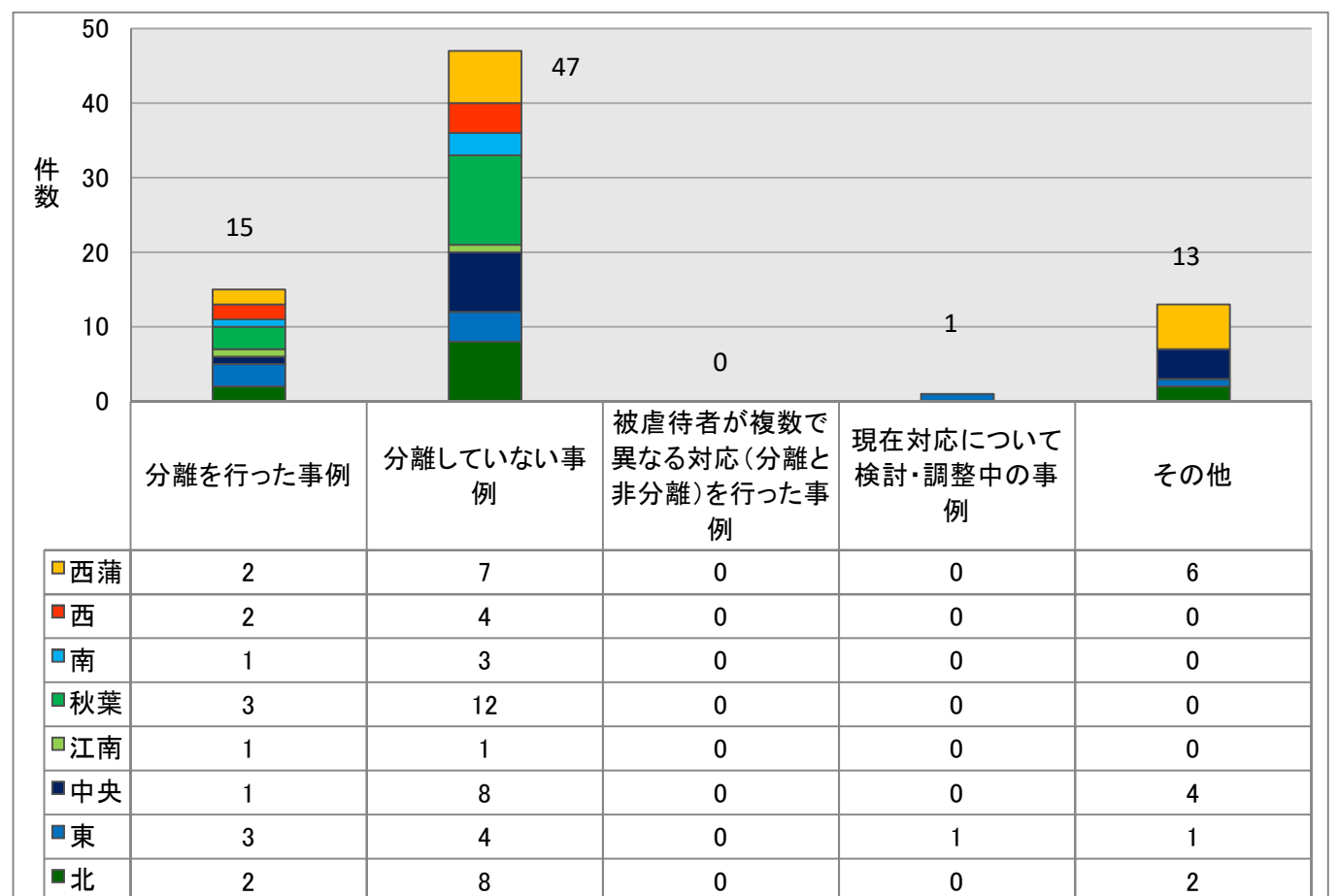
⑭ 虐待者の年齢

n=76



⑮ 虐待者との分離の有無

n=76

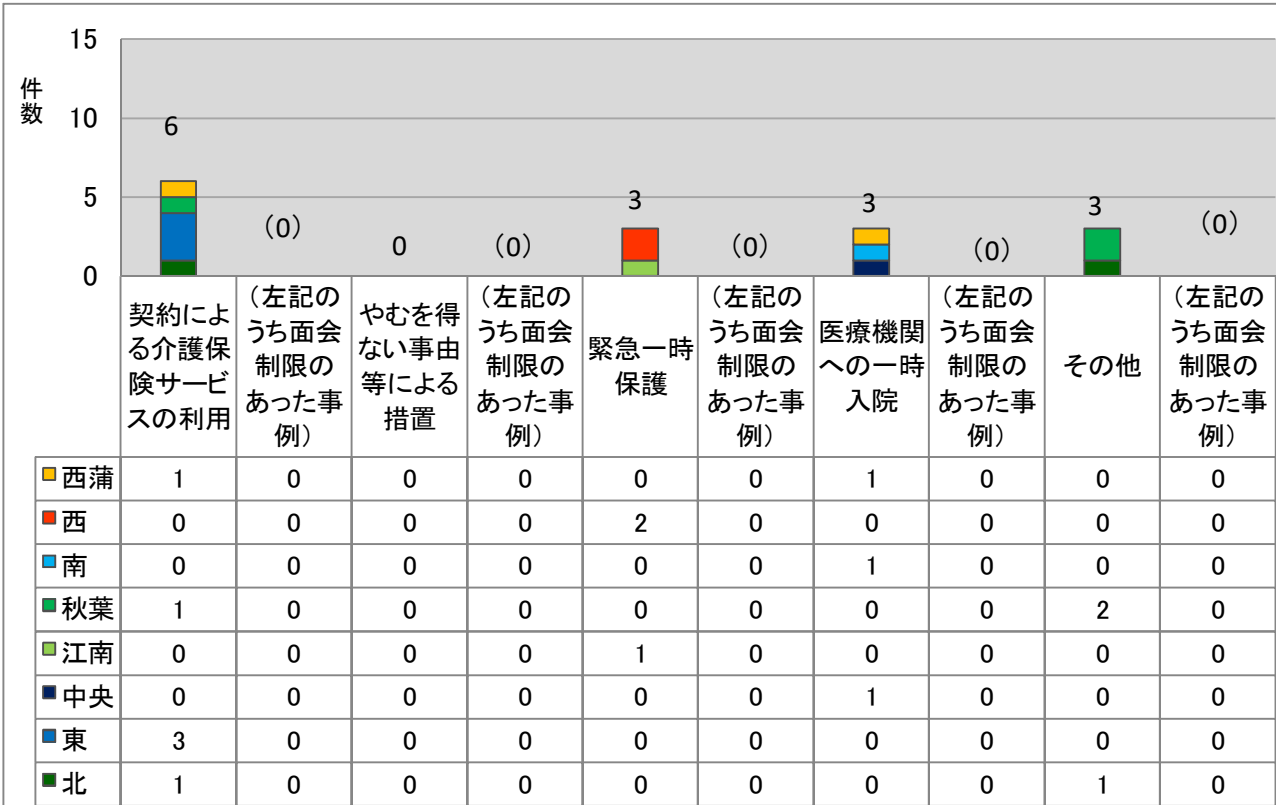


・「分離を行った事例」は、15件で22.7%である。いずれの区でも分離が必要な事例が生じている。  
 ※「その他」とは、虐待判断時点ですでに分離がされていた事例（別居、入院、入所など）。



⑩分離を行った事例の対応の内訳 ※( )は再掲

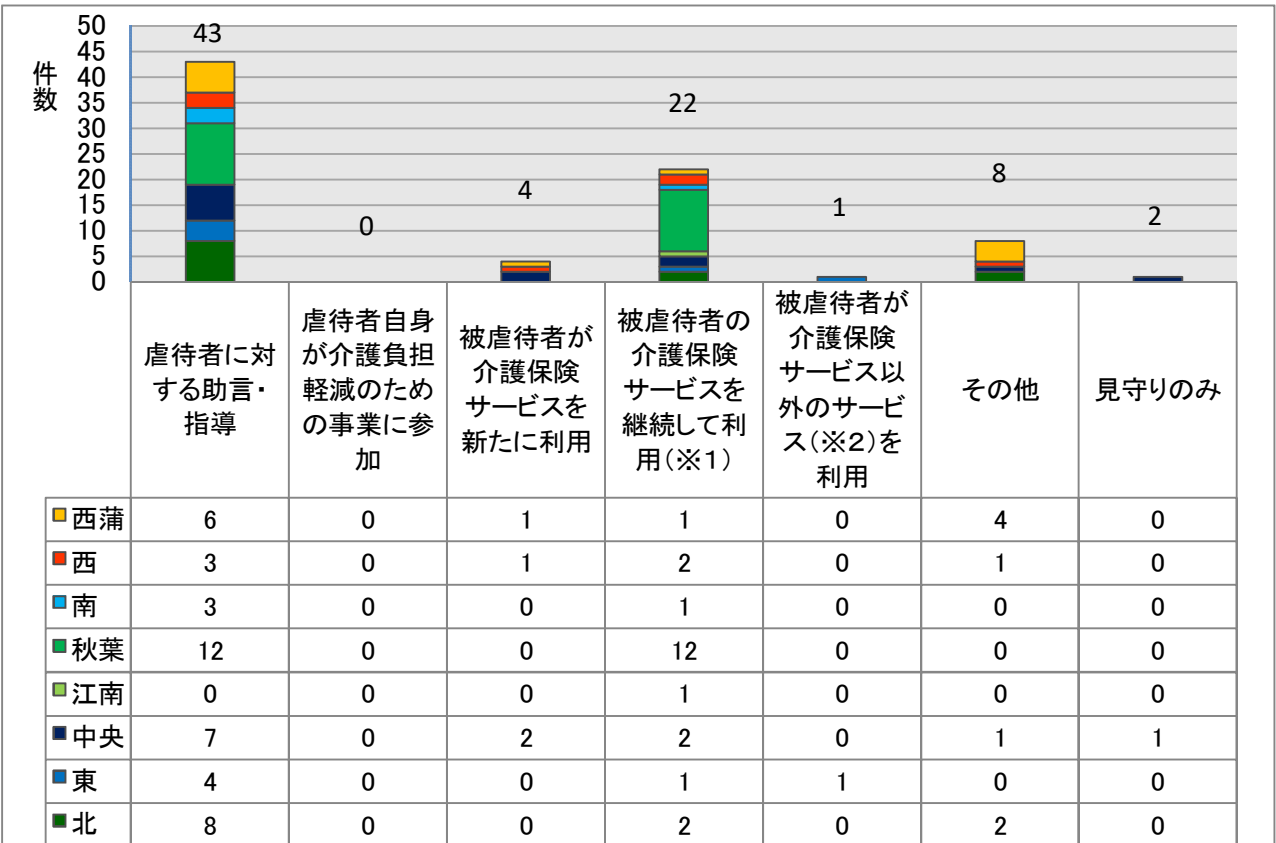
n=15



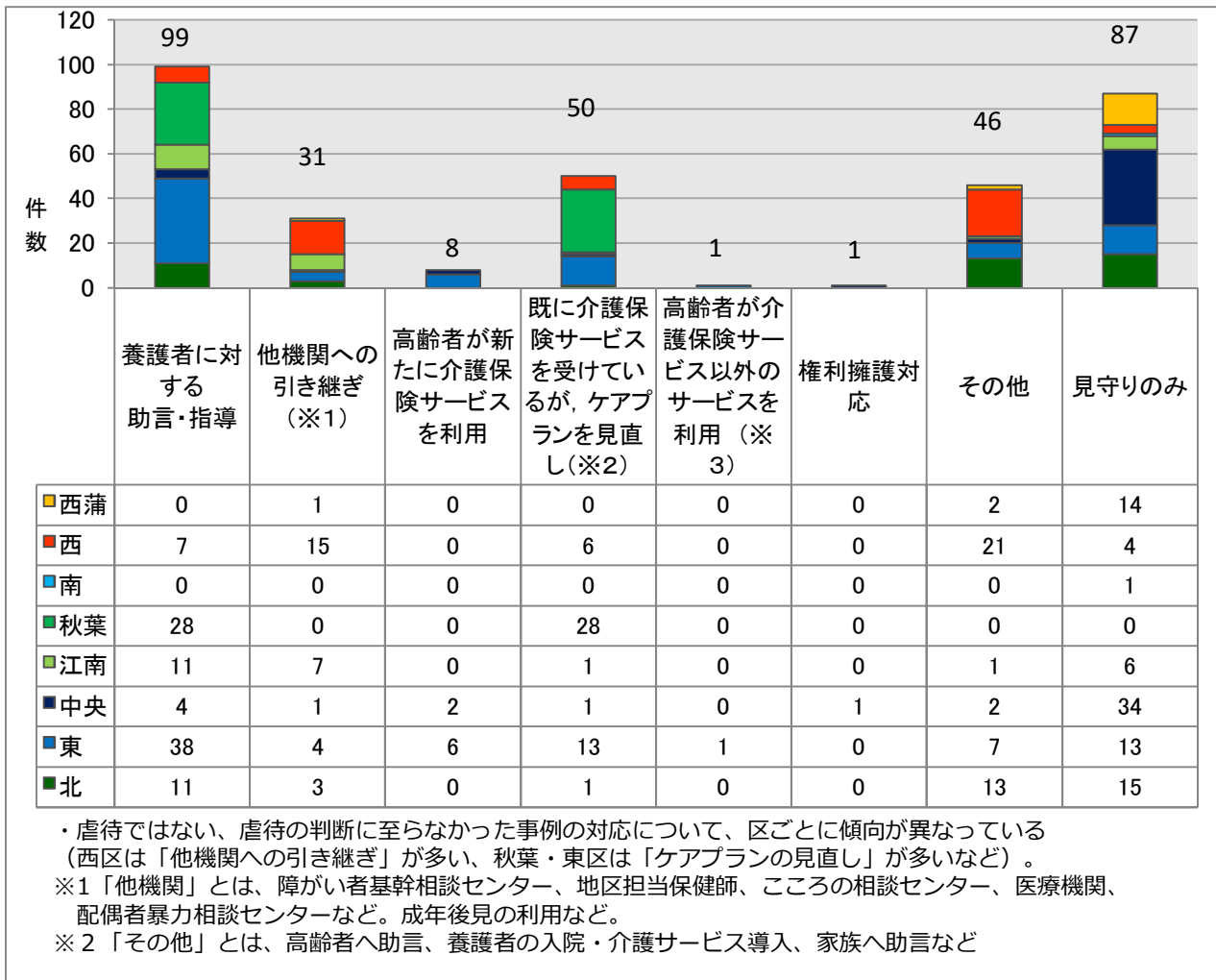
- ・「契約による介護保険サービスの利用」が最も多かったが、「医療機関への一時入院」や「医療機関への一時入院」を行った事例もあった。
- ※「その他」とは、虐待者の転居、被虐待者のアパートや親族宅への転居、有料老人ホームへの入居 など。

⑪分離していない事例の対応の内訳(見守りのみ以外複数選択あり)

n=47



- ・分離を行っていない事例の対応について、「虐待者に対する助言・指導」や「被虐待者の介護保険サービスを継続して利用」が多いが、区ごとでも、この傾向は変わらない。
- ※「その他」とは、養護者へ受診勧奨、被虐待者に対する助言、親族に支援依頼 など。
- ※1 被虐待者に対するケアプランの見直し。
- ※2 包括Cや民生委員などの定期的な見守りや定期訪問 など。



⑲権利擁護に関する対応 ※( )は再掲

